



医療者ができる がん患者の外見ケア

コスメティック・インフォメーション

コスメティック・インフォメーションとは、がん患者さんやご家族に、治療に伴う心と外見の変化（毛髪や眉毛の脱毛、肌や爪の変色など）に対して、医療スタッフができるケアの情報提供を行う事です。

今回、皆様に私たちの取り組みについてご紹介し、外見ケアについて一緒に考えていくきっかけにしたいと思います。

是非、この機会にご参加下さい。

日時

2019年8月6日(火)
18:30~19:30 (受付開始18:15~)

場所

神戸大学医学部附属病院
第一病棟2階 共通カンファレンス室

対象者

がん患者の外見ケアに関心のある医療従事者

申込方法

①氏名②所属③職種④連絡先⑤外見ケアで困難に感じることをご記入いただき、件名を「外見ケア参加希望」と記載のうえ、下記メールアドレスまでお申し込みください。

E-mail : cancerhp-apply@med.kobe-u.ac.jp

申込締切

7月26日(金)

準備の都合上、できるだけ事前の申し込みをお願いしますが、当日参加も可能です。

問合せ先

神戸大学医学部附属病院 がん相談室
電話番号 078-382-5830(直通)

参加費は
無料です



オレンジクローバーは、アピアランス活動のシンボルマークです。
たくさんのハートが集まって、患者さんが輝くことを支えています。

医療者ができるがん患者の外見ケア



日時：2019年8月6日（火）18：30－19：30

場所：共通カンファレンス室

対象者：がん患者の外見ケアに関心のある医療従事者



総合司会：がん性疼痛看護認定看護師 宮崎 加奈子

講演1 がん患者のアピアランスケア概論

がん治療における外見の問題や患者の苦痛の本質と支援の意味（外見と心の関係）、そして「医療者ができる外見ケアとは」何かをお伝えさせていただきます。

がん化学療法看護認定看護師/腫瘍センター 土井 久容

講演2 ケースで考えよう！アピアランスケア

「パーマや毛染めはしてもいいの？」「治療中は弱酸性で洗わないとダメ？」など、ケースをもとに、脱毛や爪の変形、皮膚症状への医療者ができるケアについて考えます。

臨床心理士/腫瘍センター 酒見 惇子

講演3(実践報告)

「色素沈着が出現した患者へのケア介入」

看護部/4階南病棟 岡野 礼

講演4(研究報告)

「EGFR阻害薬に伴うざ瘡様皮疹へのアダパレンゲル予防投与のプラセボ対象左右ランダム化比較試験(APPEARANCE試験)」

がん化学療法看護認定看護師/腫瘍センター 土井 久容

質疑応答

閉会

※会場には様々なグッズをご用意しております。

会の終了後、グッズ体験をしていただけますので、お気軽にお声掛けください！